

### 第3回田原市国土強靱化地域計画検討委員会議事概要

- 日時：平成28年1月29日（金）午後3時～3時40分
- 場所：田原市役所6階防災センター
- 出席者：別紙のとおり
- 会議内容

#### 《議題》

#### 1 田原市国土強靱化地域計画（案）について

- ・ 意見があれば2月4日（木）までに、事務局へメール、FAX等で連絡
- ・ 本日の会議での意見と2月4日までに提出の意見を踏まえ案を修正し、委員長が確認後、パブリックコメントに付すこと了承

#### 【主な発言内容】

山口 豊委員：修正をお願いしたい。19ページの交通・物流のところ「緊急輸送道路としての役割が期待される県道城下田原線」という記述がある。県道城下田原については、今のところ緊急輸送道路になる見込がないので、正しい記載に修正をお願いしたい。関連して26ページの最下段の交通・物流に、「輸送ルート等の確保対策」という項目があるが、この中に、緊急輸送ルートや緊急輸送道路、代替輸送ルートとさまざまな表現がある。緊急輸送道路は緊急輸送道路という整理をした上で、その他路線については、一度整理をして記述してほしい。

#### 2 田原市国土強靱化アクションプラン（案）について

- ・ 追加配布資料4の「重点的に取り組む事項に位置付ける特に重要なアクション項目」は、アクションプランに追加添付するもの
- ・ アクションプラン（案）は、現在関係部署・関係機関等と調整中であり、パブリックコメント後の地域計画公表（4月以降を予定）に合わせ公表
- ・ 最終案を第4回検討委員会（書面開催予定）に提示

#### 【主な発言内容】

佐守真人委員：追加配布資料4の位置付けは、各項目から重点的なものを取り出して、重点項目として載るという理解でいいか。

重要なアクション項目というのは、重みが違うというように書いてあるが、市では、これを強く進めて、1年ごとに見直す中でもこの重みのあるものだけは何かある程度違う位置付けをするとなどの考えがあるのか。

事務局：10の重点化すべきプログラムの中でも重点的に取り組む12の事項を設定し、特に重要なアクション項目として42項目を位置付けた。市にとって非常に大切だという位置付けで記載しているもので、市としても優先的に進めていくものとしてピックアップした。

國村一郎委員代理：17ページの9の幹線道路の整備では二段書きになっていて、下の段の一番右側の事業主体の欄は国・県・市と書いてある。これは国、県、市が連携してやっていくというような趣旨で書いてあると理解すればいいか。

もう1点、22ページの5-5の基幹的陸上海上交通ネットワークの機能停止の

事業主体のところには、市から矢印が書いてある。これは意図があるのか。

事務局：各主体が実施するものと連携して行っていくものとして記載している。矢印は、事業主体としては市以外であっても、市として重要な事業であり、市から事業主体に要望する事業、市として促進していくものとして記載している。

藤井正剛委員：アクションは、実際に行わないと意味がないので、市は市の部分、国、県等の分については、調整をしながら進めていきたいのでお願いしたい。

特に地震、津波対策、高潮の浸水対策、命の道となる幹線道路の整備や道路交通ネットワークの確立等、田原市にとって重要な部分を盛り込んでいるので、これを一つずつクリアしていきたい。

地震、津波対策について、ソフト事業は市として優先的に進めていくが、ハード面については、国、県等において緊急課題として取り組みにご協力を。

道路については、今後、関係部署と調整して進めていきたい。

高潮についても、現在、三河湾BCP協議会で検討中であるが、産業基盤を守るための、またものづくり愛知の一翼を担う産業集積地である堤外地の高潮対策については、今後、検証を行いながら方策の検討を行う必要があるしているので、行政、事業者等含め、皆さんと連携しながら具体的に行動を起こしていく必要がある。

いずれにしても、元気な渥美半島の実現を目指し、強靱化に取り組みたいと思うので、よろしくお願いしたい。

### 3 今後のスケジュールについて

- ・ 事務局提案のとおり進めていくことで了承

#### ○ 配布資料

- 1 資料1 田原市国土強靱化地域計（案）
- 2 資料2 田原市国土強靱化アクションプラン（案）
- 3 資料3 今後のスケジュール
- 4 参考資料 意見等対応表
- 5 参考資料 田原市国土強靱化地域計画検討委員会委員名簿
- 6 参考資料 第2回田原市国土強靱化地域計画検討委員会議事概要
- 7 追加配布資料1 意見等対応表
- 8 追加配布資料2 意見等対応表（地域計画）
- 9 追加配布資料3 意見等対応表（アクションプラン）
- 10 追加配布資料4 重点的に取り組む事項に位置付ける特に重要なアクション項目